

農業試験場水稻試験圃の生育状況(令和8年)

農業試験場八重森圃場(標高334m)

調査時期	調査項目	あきたこまち				コシヒカリ				風さやか			
		前年 (R7)	平年	本年 (R8)	平年差	前年 (R7)	平年	本年 (R8)	平年差	前年 (R7)	平年	本年 (R8)	平年差
移植後 20日	主幹葉数 (枚)	6.4	6.4	6.3	-0.1	6.2	6.5	6.4	-0.1	6.0	6.3	6.3	0.0
	草丈 (cm)	28	27	24	89%	31	31	27	87%	29	28	25	89%
	茎数 (本/m ²)	111	183	187	102%	119	183	215	117%	185	211	208	99%
移植後 30日	主幹葉数 (枚)	8.3	8.3			8.2	8.1			8.0	8.1		
	草丈 (cm)	37	36			40	38			37	33		
	茎数 (本/m ²)	403	452			360	408			440	503		
移植後 40日	主幹葉数 (枚)	10.3	9.8			10.2	10.0			10.2	9.6		
	草丈 (cm)	57	53			58	51			52	44		
	茎数 (本/m ²)	695	631			709	639			775	716		
幼穂 形成期	期日 (月日)	7/7	7/6			7/13	7/12			7/14	7/16		
出穂期	期日 (月日)	7/25	7/26			8/3	8/4			8/5	8/7		
成熟期	期日 (月日)	9/2	9/5			9/8	9/12			9/14	9/19		
	穂長 (cm)	85	86			101	96			83	82		
	穂長 (cm)	18.4	18.8			18.4	18.6			16.9	17.4		
	穂数 (本/m ²)	471	482			478	491			449	447		
	玄米重 (kg/a)	64.6	64.8			63.9	62.4			64.7	70.3		
	千粒重 (g)	22.2	21.9			21.7	21.5			22.3	22.4		
	総穂数 (粒/m ²)	31,407	37,821			40,889	40,643			33,225	39,793		
	登熟歩合 (%)	75.9	81.8			82.0	78.8			87.0	80.2		
	登熟穂数 (粒/m ²)	23,830	31,106			33,532	32,504			28,918	31,672		

平年値は令和元年～令和7年の収量の最大、最小年を除く7中5年の値。

移植日:令和8年5月19日、苗質:中苗、移植法:1株3本手植え、栽植密度:22.2株/m²(30cm×15cm) 玄米重は1.85mm篩データを使用。

苗丈(cm)および葉齢(L):「あきたこまち」15.1 2.9 「コシヒカリ」18.1 3.1 「風さやか」18.1 3.0

<概要>

移植後20日の生育: 移植後20日間の平均気温は高かったものの、主幹葉数は3品種とも平年並みであった。草丈は3品種とも平年を下回った。茎数はあきたこまちおよび風さやかで平年並み、コシヒカリでは平年より多かった。草丈は、苗丈が例年に比べ短かったことにより平年を下回ったと考えられる。

移植後30日の生育

移植後40日の生育

幼穂形成期

出穂期

成熟期

収量

収量構成要素

<参考>気象概況(アメダス長野観測値)

期間	平年差		登熟積算気温
	平均気温 (°C)	日照時間 (hr)	
移植直後～10日	+2.81	-1.63	
移植後11～20日	+1.89	-0.59	
移植後21～30日			
移植後31～40日			
移植後31日～幼穂形成期	あきたこまち コシヒカリ 風さやか		
幼穂形成期～出穂期	あきたこまち コシヒカリ 風さやか		
出穂期～成熟期	あきたこまち コシヒカリ 風さやか		

